

# GUITAR AMPLIFIER VX SERIES

# 65D

## 取扱説明書

### ごあいさつ

このたびは、YAMAHAギターアンプVX65Dをお買い上げいただきましてまことにありがとうございます。

VX65Dは、後面開放型のキャビネットに独立2チャンネルのプリアンプと30cmフルレンジスピーカー2本をマウントしたビルトイン型ギターアンプです。

出力60W(R.M.S.)の強力なパワーでしかもクリアなトーンからハードなディストーションまで音作りを思いのままにします。

洗練された性能をフルに発揮させると共に、長年支障なくお使いいただくためにこの取扱説明書をよくお読みくださいますようお願いいたします。

## ご注意

- 電気ギターとアンプを接続するときは、必ずギター側を先に接続し、次にアンプ側を接続してください。逆に接続しますと、スピーカーをいためる場合があります。
- 接続コードの脱着時や、電源のON/OFF時には、必ずアンプのMASTER VOLUMEを反時計方向にまわし、音量を絞ってください。
- 電源は必ずAC100V、50/60Hzの電源コンセントに接続してください。
- 物をぶつけたり、落としたりの乱暴な取り扱い、製品に悪い影響を与え、性能を劣化させますので、ていねいにお取り扱いください。
- 安全のため、落雷のおそれのあるときは、コンセントから電源プラグを抜きとってください。
- 雑音の原因となるネオンや蛍光灯からは十分に離して使用してください。

## コントロールパネル

### ① INPUT

HIGH：ギターは、通常この端子に接続します。高感度、高インピーダンスのため、ディストーションサウンドが得やすく、トーンもフライトになります。

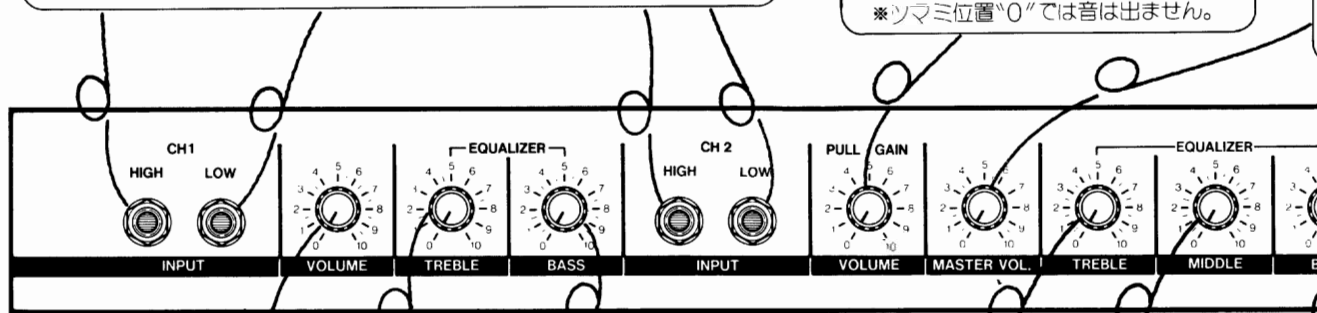
LOW：低感度、低インピーダンスのため、HIGH INPUTに比べて音量のレベルは低く、ディストーションの少ないソフトなサウンドになります。ハイレベルアウトのギターやキーボードなどは、通常この端子に接続します。

※HIGH/LOW INPUTへ同時に2本のギターを接続した場合は、HIGH/LOW INPUTともHIGH INPUT(高感度)となります。

### ⑥ PULL・GAIN / VOLUME

CH2の音量とディストーションのコントロールをするツマミです。

“10”側(時計方向)に回すほど音量が上がり、ディストーションのかけり方もハードになります。また、ツマミを手前に引くとINPUT信号を全域にわたって(約10倍)増強するためにさらにハードなディストーション効果が得られます。※ツマミ位置“0”では音は出ません。



### ② VOLUME

CH1の音量をコントロールします。“10”側(時計方向)に回すほど音量が上がります。

### EQUALIZER

#### ③ TREBLE

高域をコントロールするツマミです。ツマミが“5”の状態ではノーマルなサウンドが得られ、“10”側(時計方向)に回すほど高域がブーストされ、シャープなサウンドになります。またツマミを“0”側(反時計方向)に回すほど高域がカットされて、マイルドなサウンドになります。

#### ④ MIDDLE(CH2のみ)

中域をコントロールするツマミです。ツマミが5の状態ではノーマルなサウンドが得られ、“10”側(時計方向)に回すほど中域がブーストされ、豊かでメリハリのあるサウンドになります。またツマミを“0”側(反時計方向)に回すほど中域がカットされて繊細で控えめなサウンドになります。

#### ⑤ BASS

低域をコントロールするツマミです。ツマミが5の状態ではノーマルなサウンドが得られ、“10”側(時計方向)に回すほど低域がブーストされ、ヘビーなサウンドになります。またツマミを“0”側(反時計方向)に回すほど低域がカットされて、タイトなサウンドになります。※CH2はEQUALIZERツマミをすべて“0”にすると音が出なくなります。

## 7 MASTER VOLUME

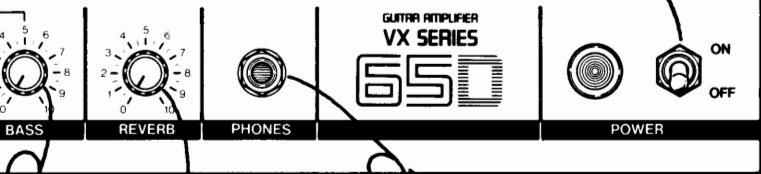
CH2のディストーションの状態や音色をほとんど変えずに音量のみをコントロールするつまみです。

セッティングは、まずこのつまみを目盛“1”～“2”程度にしておき、PULL・GAIN/VOLUMEでディストーションのかかり具合を調節した後、再びこのMASTER VOLUMEつまみで音量を調節します。

※つまみ位置“0”では音はでません。

## 10 POWER

電源スイッチです。ONにすると電源が入り、左のパイロットランプが点灯します。ハム・雑音が多い場合は、パワースイッチをOFFにしてから電源プラグを反対に差し換えてください。



## 8 REVERB

残響効果のコントロールをするつまみです。

つまみが“0”の状態です。ナチュラルなサウンドが得られ、“10”側（時計方向）に回すほど残響効果が加わり、ライブな音になります。

※CH1には残響効果はかかりません。  
h<sub>0</sub>

## 9 PHONES

ライブステージなどで自分の音がわからないときのチューニングや、夜など大きな音を出せないときはヘッドホンプラグインしてプレイしてください。

※ヘッドホンを使用するとスピーカーから音は出なくなります。

# リアパネル




FUSE

**CAUTION**  
TO REDUCE THE RISK OF FIRE, REPLACE ONLY WITH  
SAME TYPE FUSE. 250V 2.5A

 **YAMAHA** MODEL VX65D

PATENT PENDING

 **OZAWA KK**  
100V 50W 50 60Hz

日本楽器製造株式会社



REVERB  
FOOT SW

**CAUTION**  
EACH SPEAKER IMPEDANCE 8Ω

**CAUTION**  
TO REDUCE THE RISK OF ELECTRIC  
PILOT LAMP SOLDERED IN PLACE. F  
**WARNING**  
TO REDUCE THE RISK OF FIRE OR

## ① FUSE

ヒューズを交換する場合は、必ず電源プラグをコンセントから引き抜いたのち同じ定格のものと交換してください。なお、ご使用中におけるヒューズの断線はご使用上のミスのほか、故障などの原因によるものですから、お買い上げ店もしくは最寄りのヤマハサービスステーションにご相談ください。

## ② REVERB FOOT SW

フットスイッチ接続用の端子です。演奏をしながら、足もとでリアパールのON/OFFができます。



これは電子機械工業  
会「音のステータス」、  
キヤンペーンの中のジ  
ャルマークです。

## 音楽を楽しむチケット

楽しい音楽も場所によっては大変気になるものです。隣近所への配慮を充分にしましょう。静かな夜間には小さな音でもよく通り、特に低音は床や壁などを伝わりやすく、思わぬところに迷惑をかけてしまいます。適当な音量を心がけ、窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。音楽はみんなで楽しむもの、お互いに心を配り快適な生活環境を守りましょう。

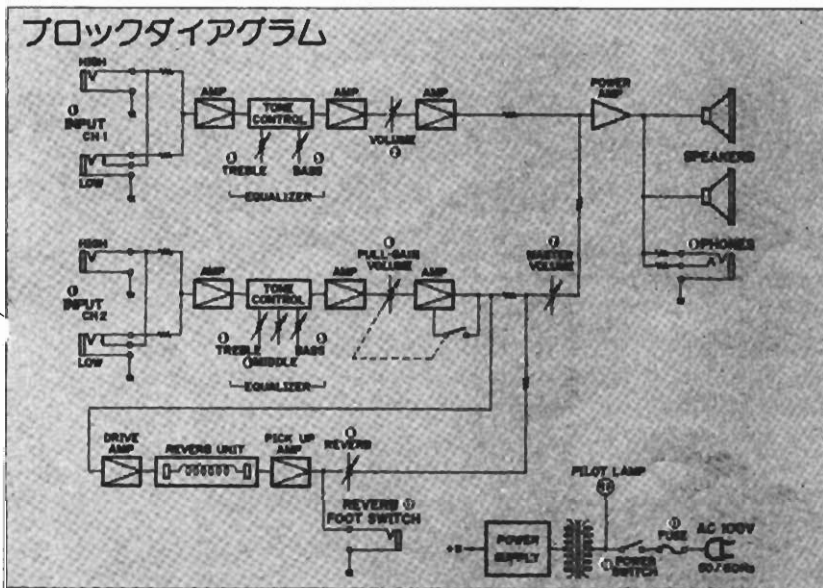
# 仕様

定格出力	60Wrms (4Ω, T.H.D. 3%)	
スピーカー	YAMAHA JA3110(30cm) × 2	
入力端子	CH1: HIGH GAIN × 1, LOW GAIN × 1 CH2: HIGH GAIN × 1, LOW GAIN × 1	
入力感度(1KHz)		
CH1		
VOLUME } max.	HIGH	-39dB(9mV)
EQ.VOL. }	LOW	-27dB(35mV)
CH2	NORMAL : HIGH -39dB(9mV)	
VOLUME } max.	LOW	-27dB(35mV)
MAS.VOL. }	PULL-GAIN: HIGH	-58dB(1.0mV)
EQ.VOL. }	LOW	-46dB(4mV)
ノイズ	-23dB(CH1 VOLUME → max., CH2 VOLUME → max. MAS.VOL. → max., PULL GAIN) -35dB(CH1 VOLUME → max., CH2 VOLUME → max. MAS.VOL. → max., NORMAL)	

ノイズ	-35dB(CH1 VOLUME → min., CH2 VOLUME → max. MAS.VOL. → max., NORMAL) -55dB(CH1 VOLUME → min., CH2 VOLUME → max. MAS.VOL. → min., PULL GAIN)										
リバーブ	スプリング式 YAMAHA JH00012										
コントロール	<table border="0"> <tr> <td rowspan="3">CH1</td> <td rowspan="3">}</td> <td>VOLUME</td> <td rowspan="3">}</td> <td>PULL-GAIN/VOLUME</td> </tr> <tr> <td>TREBLE</td> <td>MASTER VOL., TREBLE,</td> </tr> <tr> <td>BASS</td> <td>MIDDLE, BASS, REVERB, POWER SWITCH</td> </tr> </table>		CH1	}	VOLUME	}	PULL-GAIN/VOLUME	TREBLE	MASTER VOL., TREBLE,	BASS	MIDDLE, BASS, REVERB, POWER SWITCH
CH1	}	VOLUME			}		PULL-GAIN/VOLUME				
		TREBLE					MASTER VOL., TREBLE,				
		BASS	MIDDLE, BASS, REVERB, POWER SWITCH								
フットスイッチジャック	リバーブ ON/OFF										
ヘッドホンジャック	-8dB(0.3V) @60W(インピーダンス8Ω)										
電源	AC100V, 50/60Hz										
消費電力	50W										
寸法	680(W) × 557(H) × 306(D)mm										
重量	22.4kg										

\*仕様および外観は改良のため予告なく変更することがあります。

## ブロックダイアグラム



# サービスのご依頼について

本機の保証期間は、保証書によりご購入から1ケ年です。(現金、ローン、月賦などによる区別はございません。) また保証は日本国内にてのみ有効といたします。

## ●保証書

保証書をお受け取りのときは、お客さまのご住所、お名前、お買い上げ月日、販売店名などを必ずご確認ください。無記名の場合は無効になりますので、くれぐれもご注意ください。

## ●保証書は大切にしましょう!

保証書は弊社が、本機をご購入いただいたお客さまに、ご購入の日から向う1ケ年間の無償サービスをお約束申し上げるものですが、万一紛失なさいますと保証期間中であっても実費を頂戴させていただくことになります。万一の場合に備えて、いつでもご提示いただけますように充分ご配慮のうえで保管してください。また、保証期間が切れましてもお捨てにならないでください。後々のサービスに際しての機種別の判別や、サービス依頼店の確認など便利にご利用いただけます。

## ●保証期間中のサービス

保証期間中に万一故障が発生した場合、お買上げ店にご持参頂きますと、技術者が修理・調整致します。この際必ず保証書をご提示ください。保証書なき場合にはサービス料金を頂戴く場合もあります。又お買上げ店より遠方に移転される場合は、事前にお買上げ店あるいは日本楽器電音サービスステーションにご連絡ください。移転先におけるサービス担当店をご紹介上げますと同時に、引続き保証期間中のサービスを責任をもって行なうよう手続き致します。

満1ケ年の保証期間を過ぎますとサービスは有料となりますが、引き続き責任をもってサービスさせていただきます。なお、補修用性能部品の保有期間は最低8年となっています。

そのほかご不明の点などございましたら、お客様ご相談窓口までお問い合わせください。

## ■YAMAHA電気音響製品サービス拠点

お客様ご相談窓口	
東京電音サービスセンター	〒101 東京都千代田区神田駿河台3-4(龍名館ビル4F) TEL.(03)255-2241
東京ステレオサービスステーション	〒101 東京都千代田区神田駿河台3-4(龍名館ビル4F) TEL.(03)255-2241
東京電音サービスステーション	〒101 東京都千代田区神田駿河台3-4(龍名館ビル4F) TEL.(03)255-2241
横浜電音サービスステーション	〒231 横浜市中区本町6-61-1 TEL.(045)212-2223
新潟電音サービスステーション	〒950 新潟市万代1-4-8 (シルバークールビルヤマハ新潟センター2F) TEL.(0252)43-4321
大阪電音サービスセンター	〒565 吹田市新豊下1-16(千里丘センター内) TEL.(06)877-5262
大阪ステレオサービスステーション	〒565 吹田市新豊下1-16(千里丘センター内) TEL.(06)877-5262
大阪電音サービスステーション	〒565 吹田市新豊下1-16(千里丘センター内) TEL.(06)877-5262
四国電音サービスステーション	〒760 高松市丸龜町8-7 TEL.(0878)51-7777-22-3045
名古屋電音サービスセンター	〒460 名古屋市中区栄1丁目8-7 TEL.(052)231-2432
名古屋電音サービスステーション	〒460 名古屋市中区栄1丁目8-7 TEL.(052)231-2432
浜松電音サービスステーション	〒430 浜松市東伊場2-14-1 TEL.(0534)56-9211
九州電音サービスセンター	〒812 福岡市博多区博多駅前2-11-4 TEL.(092)472-2134
九州電音サービスステーション	〒812 福岡市博多区博多駅前2-11-4 TEL.(092)472-2134
広島電音サービスステーション	〒731-01 広島市安佐南区鞆町西原2205-3 TEL.(082)874-3787
北海道電音サービスセンター	〒065 札幌市東区本町1条9丁目3番地 TEL.(011)781-3621
北海道電音サービスステーション	〒065 札幌市東区本町1条9丁目3番地 TEL.(011)781-3621
仙台電音サービスセンター	〒980 仙台市大町2丁目2-10(往友生命仙台青葉通りビル) TEL.(022)222-6144
仙台電音サービスステーション	〒983 仙台市卸町5丁目7(仙台卸商共同配送センター内) TEL.(0222)96-0249
お預り品修理拠点	
東京電音サービスデポ	〒171 東京都練馬区高野台2-3-10 TEL.(03)904-4901
大阪電音サービスデポ	〒565 吹田市新豊下1-16(千里丘センター内) TEL.(06)877-5262
名古屋電音サービスデポ	〒460 名古屋市中区栄1丁目8-7 TEL.(052)231-7896
九州電音サービスデポ	〒812 福岡市博多区博多駅前2-11-4 TEL.(092)472-2134
北海道電音サービスデポ	〒065 札幌市東区本町1条9丁目3番地 TEL.(011)781-3621
仙台電音サービスデポ	〒983 仙台市卸町5丁目7(仙台卸商共同配送センター内) TEL.(0222)96-0249
本 社	
営業技術課電音サービスセンター	〒430 浜松市中沢町10-1 TEL.(0534)65-1111

## 日本楽器製造株式会社

本社・工場 〒430 浜松市中沢町10-1  
TEL.0534(65)1111

